

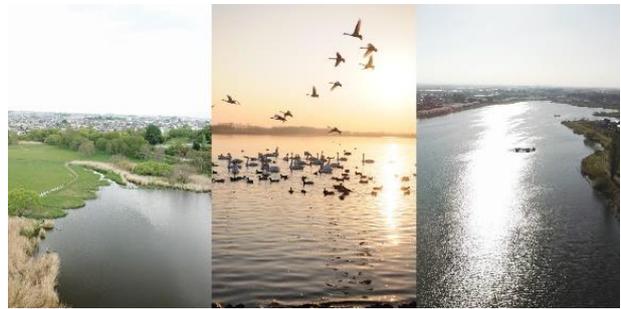
# 館林市つつじが岡公園再整備基本計画(概要版)

## 1 背景と目的

つつじが岡公園は、国指定名勝「躑躅ヶ岡」を有する本市を代表する観光名所であり、つつじの開花に合わせて開催しているつつじまつりは、毎年多くの人で賑わっています。つつじが岡公園は、平成 26 年に群馬県から館林市へ移管されました。平成 22 年に策定されたつつじが岡公園ランドデザインでは、理念「多様な主体の参画を促す花と緑あふれる四季型都市公園」が掲げられており、年間を通した四季型公園として賑わいのある公園運営が求められています。

つつじが岡公園周辺には、宿泊施設やレストランなどの機能を有するサイクリングターミナルがありますが、施設の老朽化に伴い、平成 29 年から施設の運営を休止しています。また、サイクリングターミナルの南に位置する公園用地は未供用となっており、公園やサイクリングターミナルと一体的な活用が期待されています。

つつじが岡公園に接する城沼を含めた館林の沼辺文化は、令和元年度に「里沼」として文化庁「日本遺産」に認定されました。これを契機に、既存公園区域の更なる活用促進を図るとともに、サイクリングターミナルの再開や未供用公園用地の活用も含めた魅力向上を目的として、本計画を策定します。



## 2 計画地の現況

計画地には主に次の施設が立地しており、計画エリアを一体的に再整備することで、公園の魅力向上させる必要があります。

### 【計画地内施設】



③大芝生広場

④つつじが岡ふれあいセンター

⑫旧公園管理事務所

⑬サイクリングターミナル



### 3 現況と課題、再整備方針

「つつじが岡公園グランドデザイン」の理念と事業展開方針を基本として、つつじが岡公園及び周辺エリアの課題解決と館林の沼辺文化を軸とした魅力発信に向け、つつじが岡公園の整備方針を次のとおり定めます。

なお、本計画では、サイクリングターミナル及び未供用公園用地を含め、一体的に再整備するものとします。

#### 【現況と課題】

#### 【再整備方針】

##### ①来訪者の減少

- ・ つつじが岡公園は本市有数の観光名所ですが、近年来訪者数は減少傾向にあります。
- ・ つつじが岡公園の集客力の柱を担うつつじまつりの有料入園者数が減少するなど、花の魅力だけでは集客力が低下しているため、コンテンツの充実により、新たな公園来訪者の獲得を図ることが必要です。

##### 方針①新たなターゲットの獲得

- ・ 様々な利用者が訪れ、長く滞在できる公園を目指し、里沼のロケーションを生かした居心地の良い空間の創出を図ります。
- ・ 物販・飲食の充実により、地域住民による日常利用の増加や、観光地として集客力の強化を図ります。

##### ②来訪シーズン・時間帯・属性の偏り

- ・ つつじ開花時期に来訪が集中しているなど、利用の偏りがみられます。つつじ開花時期以外の来訪目的を充実し、年間を通じて集客を図ることが必要です。
- ・ 利用者は高年齢層が多く、若年層や子育て世代の獲得を図ることが必要です。
- ・ 大半が日帰り利用であり、滞在時間を延ばし、宿泊を促すような仕組みづくりが必要です。

##### 方針②通年・終日利用できる目的

- ・ 公園に訪れる目的となる体験型コンテンツの導入により、年間を通して利用される四季型公園として、シーズンや時間帯による利用の落ち込みが少なく、最大限利用される公園を目指します。
- ・ 夕方以降の公園利用を促すコンテンツを拡充し、利用時間の拡大を目指すとともに、サイクリングターミナルへの宿泊を促します。

##### ③サイクリングターミナルの休止

- ・ サイクリングターミナルは現在休止しており、再開に向けた再整備が必要です。
- ・ 日本遺産「里沼」の認定を契機とした館林市の魅力発信や集客性向上のため、城沼周辺における観光機能を高めることが必要です。

##### 方針③サイクリングターミナルの活用

- ・ 民間活力により、集客力の高い観光関連施設としてサイクリングターミナルと未供用公園用地の一体的活用を図り、泊まりたくなる公園づくりを目指します。

#### 4 エリア別の再整備方針、機能・施設の導入方針

本計画においては、「つつじが岡公園グランドデザイン」にて検討された範囲を「四季型エリア（日帰り観光）」として位置づけ、また、四季型エリアの中でも特に、国指定名勝「躑躅ヶ岡」を生かした花の魅力による季節観光を促す地区を「つつじ名勝エリア（季節観光）」として位置づけます。また、サイクリングターミナルや未供用公園用地などを有する古城沼周辺地区を「古城沼周辺エリア（宿泊観光）」として位置づけ、各エリアにおける現況と課題を踏まえ、課題解決に向け、整備方針を定めます。

【エリア区分】



【エリア別再整備方針】

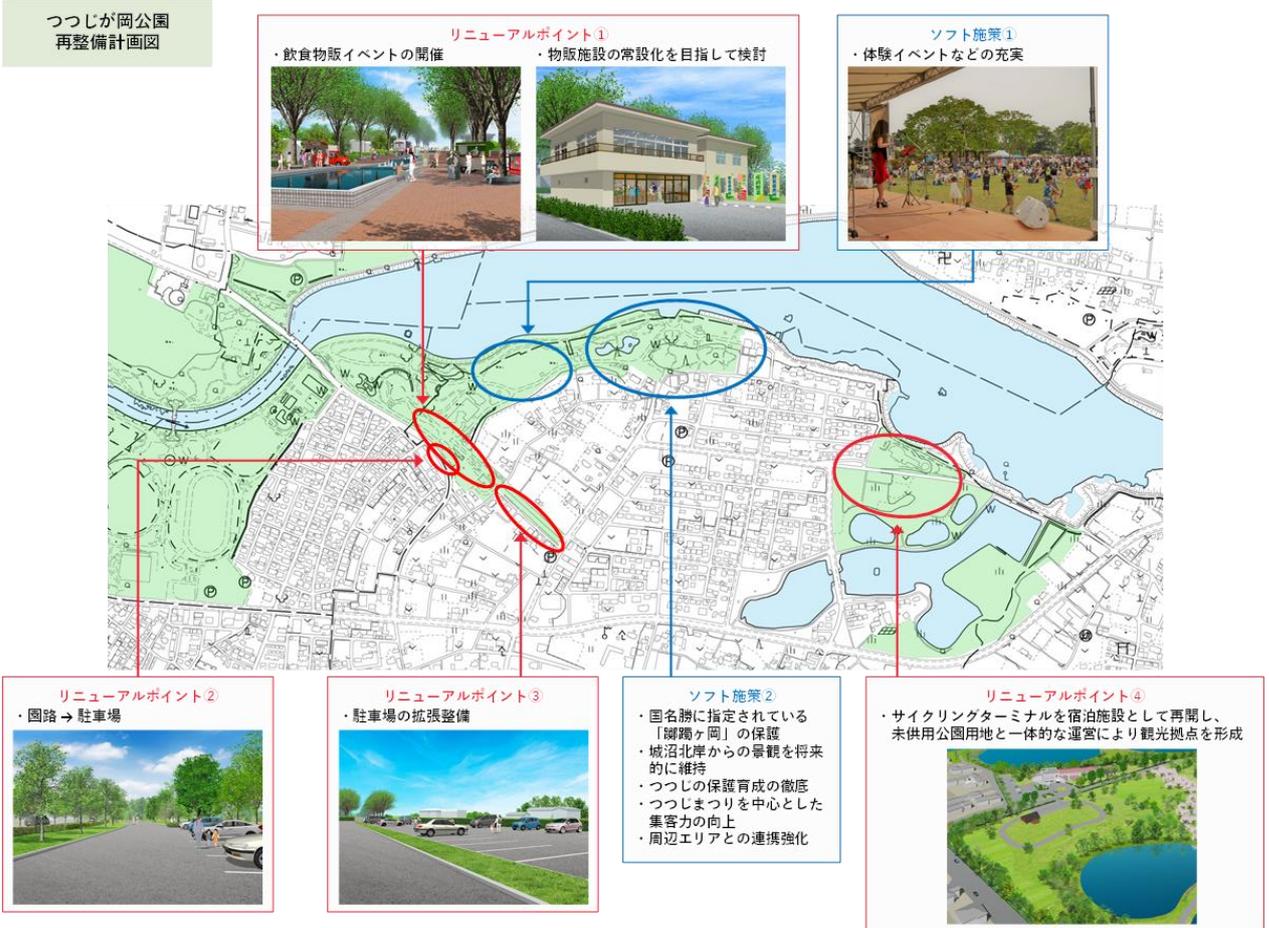
<b>四季型エリア (日帰り観光)</b>	四季折々の花が楽しめる空間としての魅力増進と、新たなコンテンツの充実により、新規来訪者の獲得を図るとともに、年間を通じた集客力の向上を目指します。
<b>つつじ名勝エリア (季節観光)</b>	国名勝に指定されている「躑躅ヶ岡」を保護し、城沼北岸からの景観を将来的に維持していきます。つつじの保護育成の徹底と、つつじまつりを中心とした集客力の向上を図るとともに、周辺エリアを含めた賑わい創出を図ります。
<b>古城沼周辺エリア (宿泊観光)</b>	サイクリングターミナルと未供用公園用地の一体的な活用を図るとともに、長期滞在を促す機能の充実により、泊まりたくなる公園づくりを目指します。

#### 5 導入機能と整備イメージ

つつじが岡公園の魅力向上やサイクリングターミナル再開に向けて事業実施の可能性を確認するため、民間事業者意向調査を実施しました。高いニーズが確認された機能・施設の導入の検討及び再整備方針を踏まえたリニューアルポイントは次のとおりです。

リニューアルポイント① 飲食物販イベントの開催、物販施設の常設化を目指して検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルシェやフードイベントなどの開催、キッチンカーの誘致</li> <li>・ 社会実験により収益性や集客性を検証し、常設化（旧公園管理事務所の活用、新規建物の建設、コンテナハウスの設置など）を目指して中長期的に検討</li> </ul>
リニューアルポイント②・③ 園路→駐車場、駐車場の拡張整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再整備に伴い増加すると考えられる駐車場需要への対応</li> </ul>
リニューアルポイント④ サイクリングターミナルの再開と未供用公園用地の活用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間活力の導入により、サイクリングターミナルと未供用公園用地の一体的な活用を図る</li> </ul>

## 6 再整備計画図



出典：館林市 発行 1/25,000 都市計画図

## 7 今後の整備等の予定

本計画で定めた整備方針に基づき、各エリアの課題解消のため順次検討・整備を行っていきます。まずは、古城沼周辺エリアにおいて、令和6年度早期のサイクリングターミナル再開を目指して必要な機能・施設の整備を行い、未供用公園用地との一体的な活用に向けては、官民連携による整備を推進していきます。

四季型エリアにおいては、飲食物販イベントや体験イベントなどの充実を図ります。さらには、物販・飲食施設の常設、駐車場の拡張整備などを中長期的に検討し、年間を通した四季型公園としての魅力向上を図ります。